

## トルコでクリミア・コンゴ出血熱が発生

2012年5月17日 ProMED 情報( World News UPI.com)



トルコの黒海沿岸地域で、ダニに咬まれて感染するクリミア・コンゴ出血熱で5名が死亡しました。5月15日、トルコ北部のカスタモヌ kastamonu 県の住民3名が、首都アンカラの病院に搬送されましたが、同日死亡しました。さらに、トカラ Tokat 県の県都トカラに住む羊飼、チョルム県に住む農夫も同日死亡しました。

この病気はアナトリア半島中央部、黒海沿岸の農村部の農場や畜殺場で働く人たちが、主に感染します。通常、ウイルスに感染したダニに咬まれるか、感染した家畜の内臓や血液に直接接触することで感染します。患者の血液によるヒトの間での感染はまれです。

地球温暖化の影響で、ウイルスを保有するダニが急速に増えていると科学者は述べています。クリミア・コンゴ出血熱はワクチンがなく、出血、高熱、筋肉痛、嘔吐が生じ、重症例では全身の発疹、腸管や歯肉からの出血、腎不全になります。

### 〔ProMED 調整者〕

クリミア・コンゴ出血熱は、ヨーロッパ東部、特に旧ソ連で多く報告され、地中海沿岸、中国北西部、中央アジア、ヨーロッパ南部、アフリカ、中東、インド亜大陸で見られます。マダニ、特にイボマダニ属 *Hyalomma* は、クリミア・コンゴ出血熱ウイルスの媒介動物です。ウシ、ヤギ、ヒツジ、ウサギなどの野生動物または家畜が、ウイルスを増殖させる宿主になります。ヒトの潜伏期は、ダニに咬まれて感染する場合は通常1～3日(最長9日)で、汚染された血液や臓器に接触して感染する場合は通常5～6日(最長13日)です。死亡率は30%で、死亡は発症後第2週に起こります。回復する場合は、発病後第9、10日目に症状の改善が起こります。抗ウイルス薬リバビリンが治療に使われます。